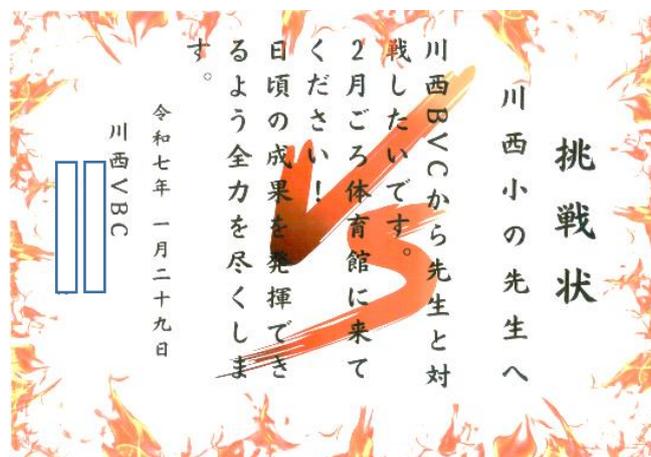


子どもたちからの挑戦状



一昨日の朝、体育館での児童集会（じぶこえ集会）を終えて校長室へ戻りました。すると廊下側の出入口からノックが聞こえ、

「たのもう～！！」

という元気な声が聞こえました。こんな時代劇のような言葉を実生活で聞いたことはありませんでしたが、私もすかさず「何者だ」と問い返すと、笑顔の6年生二人が入ってきました。二人は写真のような挑戦状を読み上げました。実は去年から二度にわたって川西地区の小学生のバレーボールチームと練習試合をしているのです。チームにとって最後の大会がもうすぐということもあり、**ライバルである川西小職員チームに試合を申し込んできた**というわけです。

このうれしい挑戦に職員室にいた先生方も集まってきて、「**その挑戦、受けて立とう**」ということになりました。校長は代表の2名と握手を交わし、「互いに全力で戦うこと」「どちらが負けても泣かないこと」を約束しました。挑戦状が無事受理されて、二人は笑顔で帰っていきました。

私はすぐに体育科の先生に指示を出し、「卒業式に我々が松葉杖で参加しなくていいように、練習計画を立ててください」とお願いすると、翌朝には職員室に掲示された挑戦状の隣に、練習計画が置かれていました。厳しい練習が我々を待っていそうです。

子どもたちも、職員も楽しめるバレーボールの交流にできたらと思います。

